

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 15010010

政策目標	4	うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	19	消防・救急・防災体制の強化	事業優先度	B		
単位施策	3	消防・救急体制の充実	政策事務分類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	消防団活性化事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	15	消防支署	
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	消防団員数		関係例規・法令名	#N/A		
事業目標	110名		ハード/ソフト 事業区分	2	ソフト事業	
住民参加	無		関係個別計画名			
住民協働						

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	事業費(千円)	24,100	5,000	5,200	4,400	4,700
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債 その他	0				
一般財源	24,100	5,000	5,200	4,400	4,700	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	12,183	4,857	3,325	4,001	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債 その他	0				
一般財源	12,183	4,857	3,325	4,001		
特定財源の名称	【評価・実績】	(実施内容等) ・団員教育訓練・福利厚生 ・新入団員被服購入 ・女性団員新基準被服購入	(実施内容等) ・団員教育訓練・福利厚生 ・新入団員被服購入	(実施内容等) ・団員教育訓練・福利厚生 ・新入団員被服購入	(実施内容等)	(実施内容等)
		※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	103名	104名			
第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	97%	64%	91%	0%	0%
	全体達成率	20%	34%	51%	51%	51%
	備考欄					

事業名	消防団活性化事業	評価者	管理職 職氏名	支署長	安本 明志美
		評価者	作成者 職氏名	庶務係長	村田 康朗

様式1
平成27年度実施
平成28年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	団員(町民)	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	消防団員の確保、訓練等による組織の活性化									
【抱える課題やニーズは】	若年層の新規入団を望んでいるが、地元での就職が減少しているため、入団対象者が少なく消防団活動の魅力のアピールし、入団を促進することが課題である。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値									
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	消防団活動が活発になる。	①	消防団員数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成27年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>105人</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>106人</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>101.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成27年度	目標値	105人	実績値	106人	達成度	101.0%
			目標年度	平成27年度								
目標値	105人											
実績値	106人											
達成度	101.0%											
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	・消防団員数の確保(男性団員100名:女性団員10名) ・消防団員の技量向上	②	訓練回数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成27年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>5回</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>5回</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成27年度	目標値	5回	実績値	5回	達成度	100.0%
			目標年度	平成27年度								
目標値	5回											
実績値	5回											
達成度	100.0%											
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	呼びかけ	消防団幹部から協力事業所等への呼びかけ										
	被服支給	新入団員に災害現場での活動に必要な被服等を支給										
	訓練費用	火災や災害を想定した訓練時に出勤費を支給										

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	町民の生命財産を災害から守るため、各種訓練及び研修を通じた団員の技術向上を目標とすることが必要とされ、また、団員の高齢化が進むなか、若年層の新規入団も必要と評価する。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	訓練出勤率については、ほぼ達成され、団員数については町外転出による女性団員の2名が退団されたが、男性3名の新規入団により、目標値の105名を上回る106名を達成したので、全体の目標は達成されたと評価する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/> 下回る	
/課題あり		

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	若年層団員の積極的な研修参加及び各種訓練の実施を強化したことにより、消防技術と精神面が向上し、その結果、災害現場での活動がスムーズとなり、活動時間の短縮につながったものと考え、また団員確保のため町内の各企業に入団促進を呼び掛ける。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的	<input checked="" type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
/課題あり	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

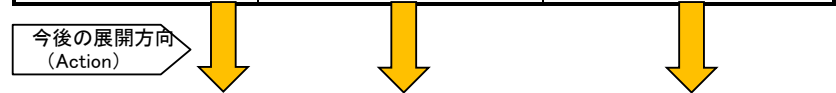
公平	判断の理由	全町民を対象とした事業のため、公平と評価する。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
最終目標値である団員数を110名としているなか、平成27年度は目標値の105名を上回る106名の団員を確保することが出来、目標が達成されたと考え、この結果出勤率が向上したと評価する。		



継続/現状維持		
町民の防災意識の高揚、雄武町としての防災体制の重要性を考え、今後も継続していく必要がある。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止